

第7回エピネット栃木

Epilepsy Network TOCHIGI

テーマ **てんかん治療ネットワークを実際に稼働させるために
～ ネットワークを使い何ができるのか ～**

本会は臨床でお困りのてんかん症例を検討する場として企画しております
薬物療法から外科治療まで、幅広い視点からの討論を予定しております

・症例は当日持込も受け付けております (日持ち込み症例は、手持ち資料で可)

日時:平成25年3月21日(木)19:15～21:00

場所:宇都宮グランドホテル

製品紹介 19:15～「ラミクタール錠」について

開会のご挨拶 19:25～ 自治医科大学 渡辺 英寿 先生

第7回当番世話人 国際医療福祉リハビリテーションセンター長

なす療育園施設長 下泉 秀夫 先生

ミニレクチャー

『宮城のてんかんネットワークについて』
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野
講師 神一敬先生

一般演題を募集しております

教育的症例、ディスカッションに向いている症例、現在お困りの症例、
他診療科の意見を聞きたい症例など、お待ちしております

てんかん診療のアクセスポイントが明示されることで、患者さんにもかかりつけ医にも、発作が抑制されない場合にどの医療機関を受診すればよいか明らかとなります。また高齢者てんかんの診断、運転免許、発作に関わる事故、就学、就労等てんかんの社会的側面に関する問題の解決も容易になることが期待されます。地域において、てんかんの患者さんに適切な医療を供給することは、発作に起因する事故を減らし地域の安全を確保する上で必要な社会的コストと考えられます。現在のように地域でどの医師がどのようなてんかん診療を行っているか分からない状態は早急に改善すべきであり、てんかん診療の地域拠点を今後整備してゆく事が必要

会終了後情報交換会をご用意しております

当日参加費として1000円を頂戴いたします

共催:エピネット栃木

グラクソ・スミスクライン(株)